

データからみたみやぎの健康 概要版

— 令和3年度版 —



宮城県保健福祉部

令和4年3月

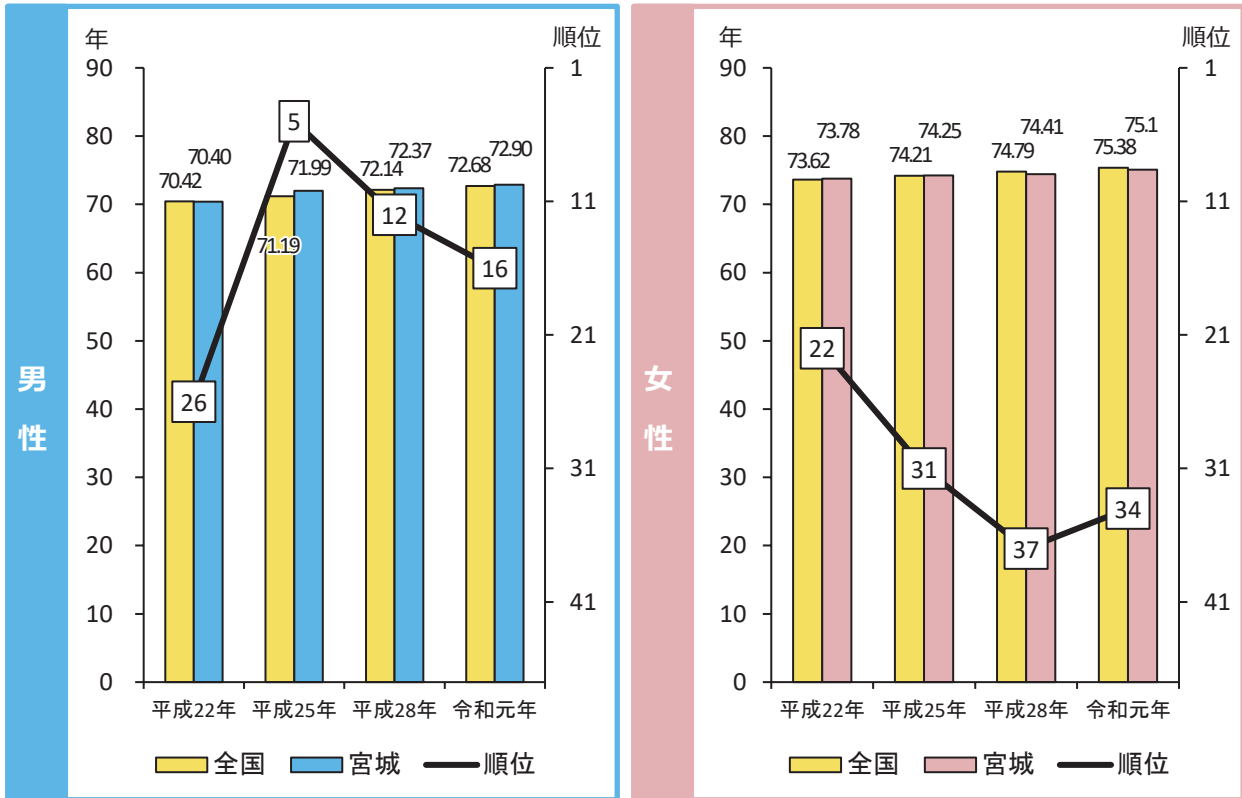
健康寿命

【都道府県の状況】

○宮城県男性の健康寿命は、平成22年は全国より低いが、平成25年、平成28年、令和元年はともに全国より高く、全国16位。

○宮城県女性の健康寿命は、平成22年、平成25年は全国より高いが、平成28年、令和元年は全国より低く、全国34位。

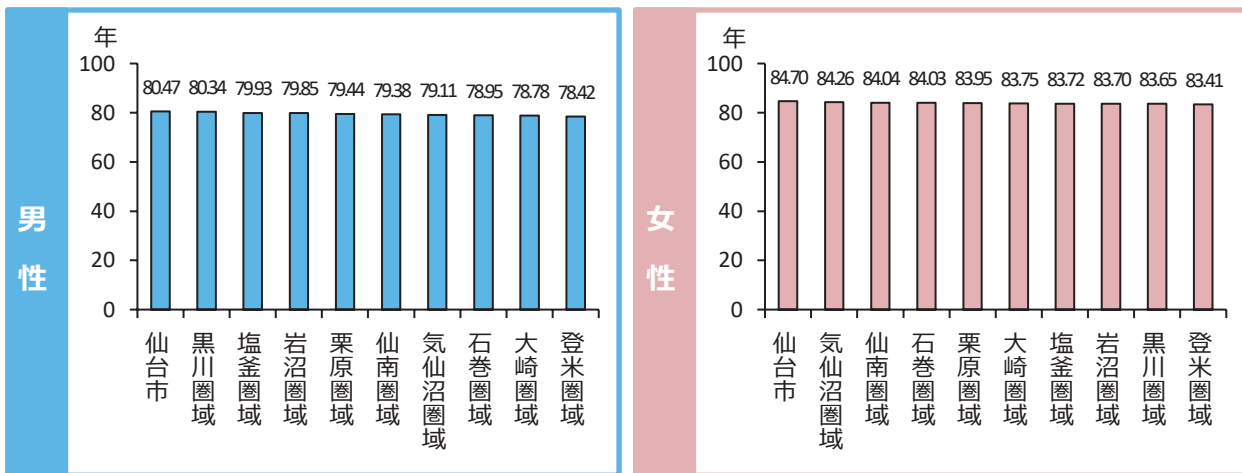
健康寿命の伸び（全国との比較）



資料) 厚生科学研究班算出「日常生活に制限のない期間の平均」

【圏域別の状況】

圏域別健康寿命（令和元年）

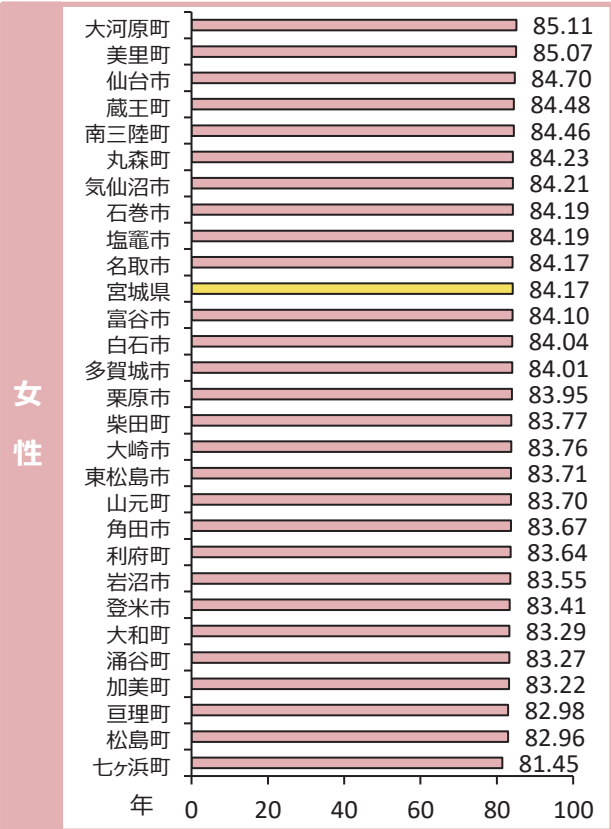
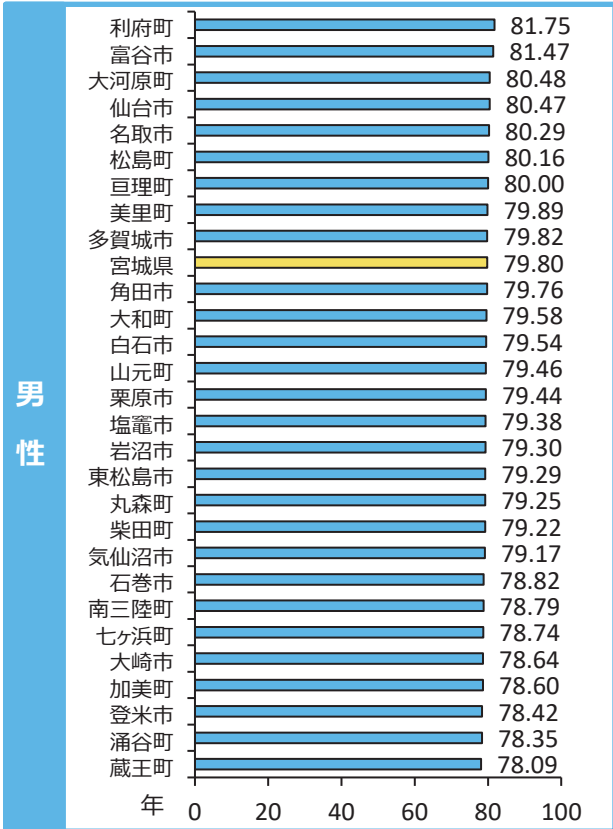


資料) 厚生科学研究班「健康寿命における算定プログラム」に基づき算出

注) 圏域別・市町村別健康寿命は「要介護認定2以上の認定者数」をもとに算出しているため、上記の「日常生活に制限のない期間」をもとに算定した都道府県の健康寿命とは比較できません。

【市町村別の状況】

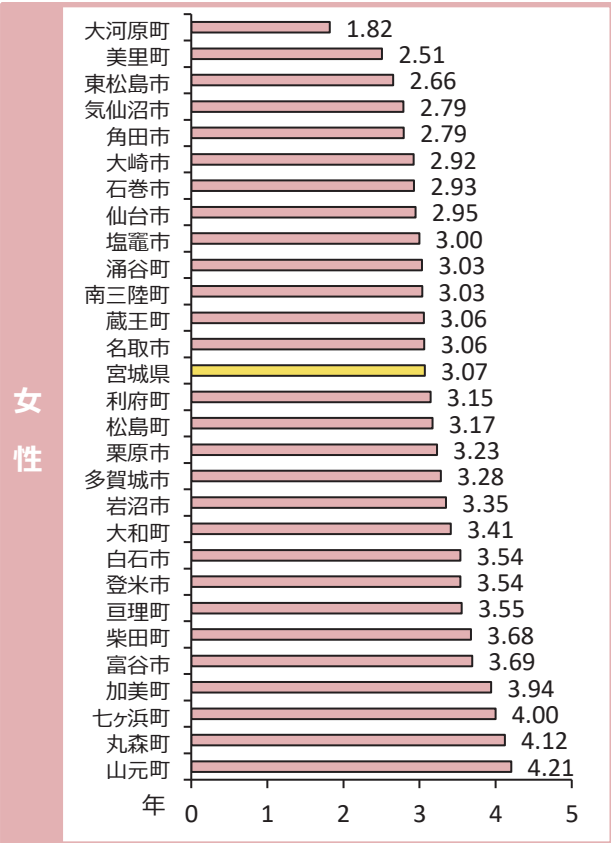
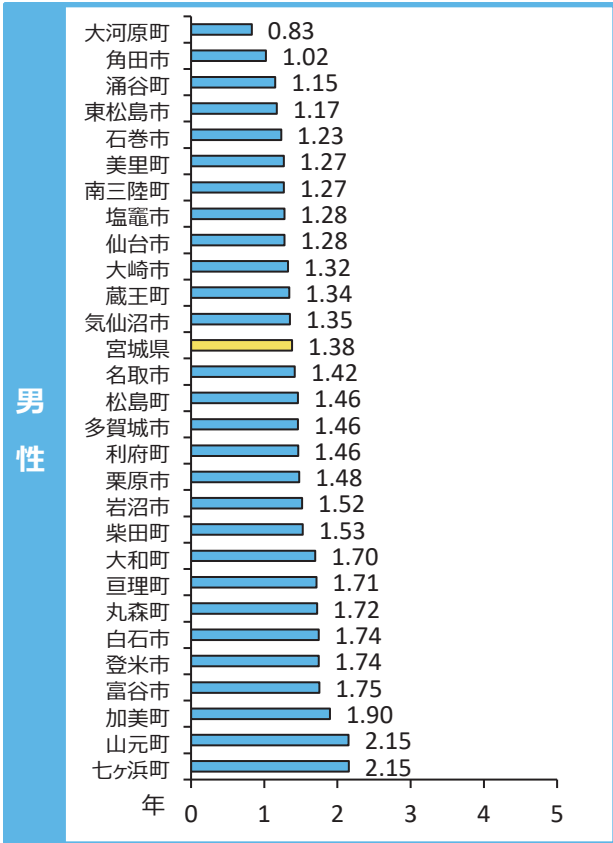
市町村別健康寿命（令和元年）



注) 人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きいため、参考値として掲載。

参考値	七ヶ宿町	村田町	川崎町	大郷町	大衡村	色麻町	女川町
男性	74.46	78.79	80.30	77.95	79.50	79.46	79.48
女性	83.63	83.68	83.73	82.85	82.83	81.99	82.79

不健康な期間（平均寿命－健康寿命）（令和元年）



注) 人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きいため、参考値として掲載。

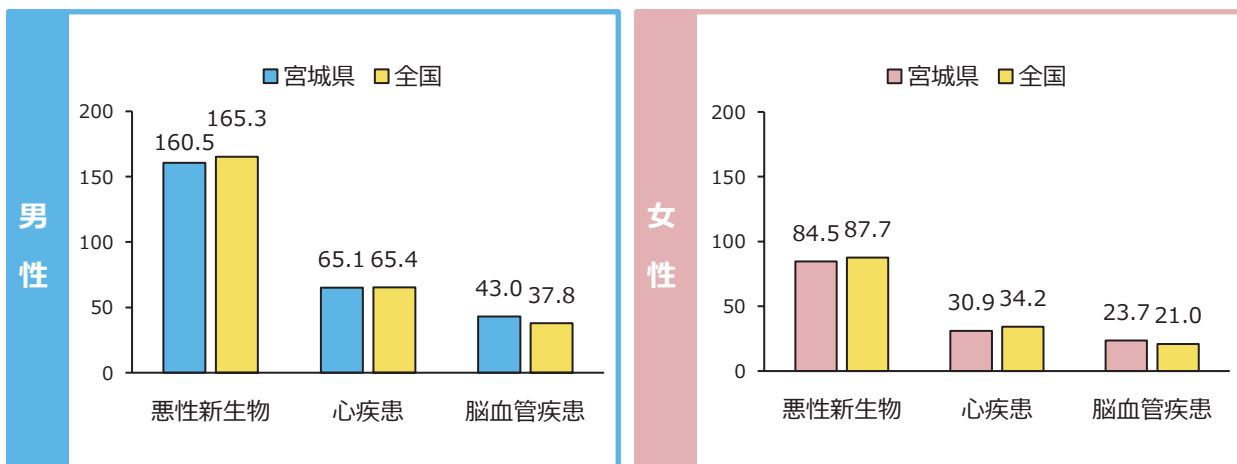
参考値	七ヶ宿町	村田町	川崎町	大郷町	大衡村	色麻町	女川町
男性	0.96	1.34	1.72	1.72	1.56	1.43	0.95
女性	2.72	3.05	4.18	2.79	2.82	2.77	2.99

死亡の状況

【都道府県の状況】

○宮城県の主な死因の年齢調整死亡率は、脳血管疾患のみ全国より高く、男性全国13位、女性は11位。
(高い順)

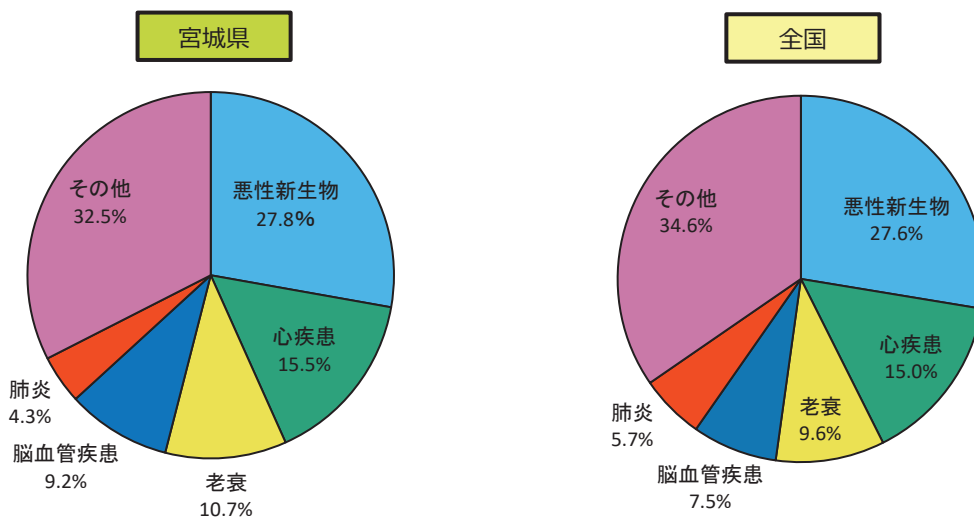
主な死因の年齢調整死亡率（人口10万対）（平成27年）



資料) 人口動態統計特殊報告 (H29)

○宮城県の死亡順位は、1位悪性新生物、2位心疾患、3位老衰、4位脳血管疾患、5位肺炎の順である。
全国でも1位悪性新生物、2位心疾患、3位老衰、4位脳血管疾患、5位肺炎の順である。

死因別死亡割合（令和2年）

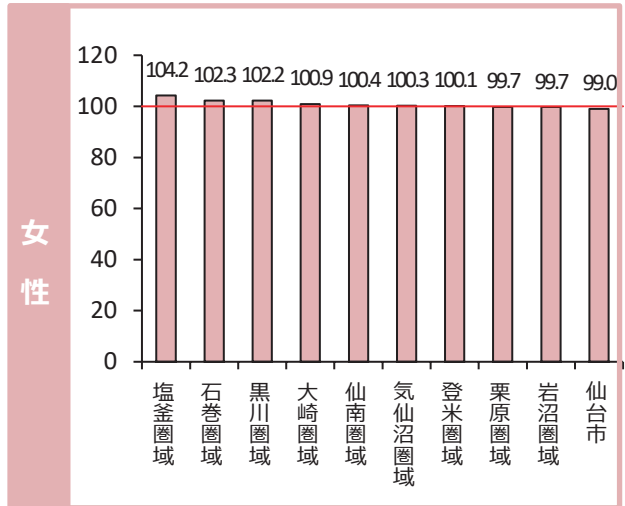
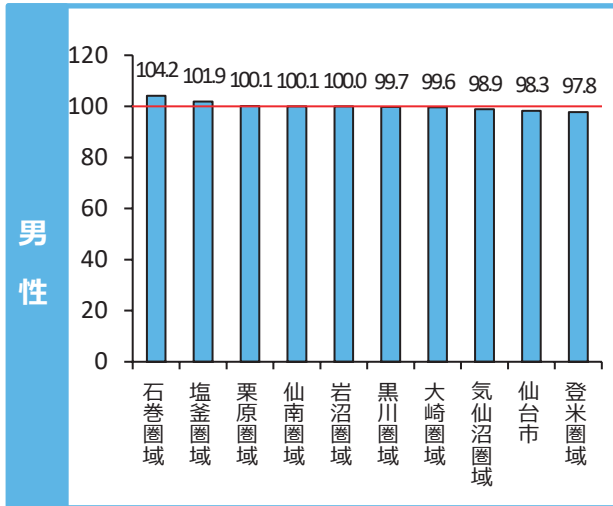


資料) 人口動態調査 (R2)の死亡数から算出

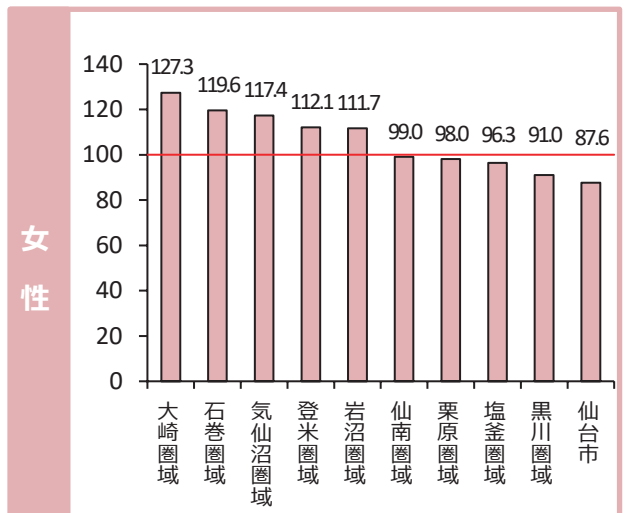
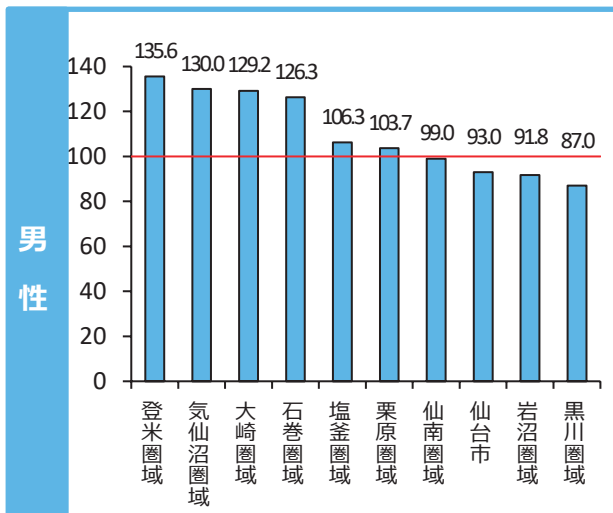
【圏域別の状況】

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR (令和元年)

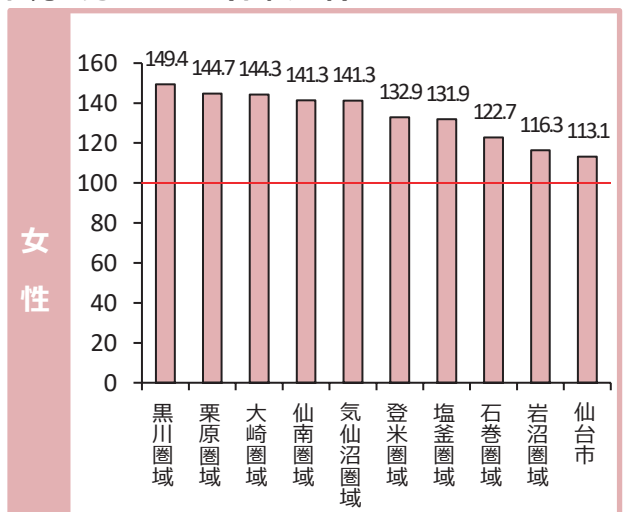
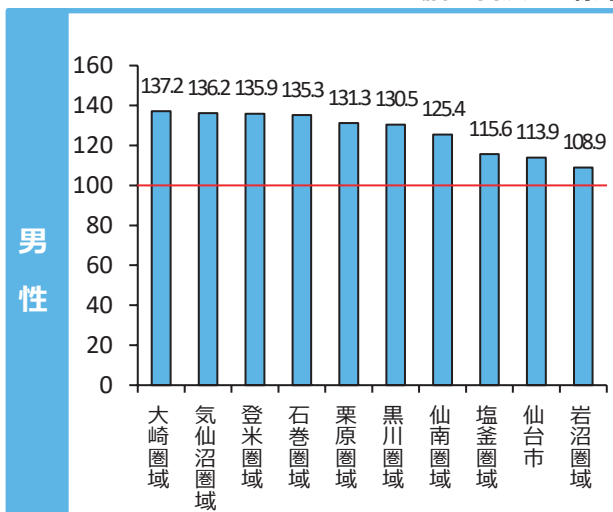
※全国=100



心疾患 標準化死亡比EBSMR (令和元年)



脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (令和元年)



■ EBSMR (SMR経験的バイズ推定値) について

年齢構成の差を取り除き地域の比較を行うための指標として、標準化死亡比 (SMR) がありますが、小地域間の比較や経年的な動向を標準化死亡比で見る場合、死亡数が少ないと数値が大きく変動してしまいます。そのため、観測データ以外にも対象に関する情報を推定に反映させることが可能な「バイズ推定」を使用しました。全国を100として相対値で表したもので、EBSMRが100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

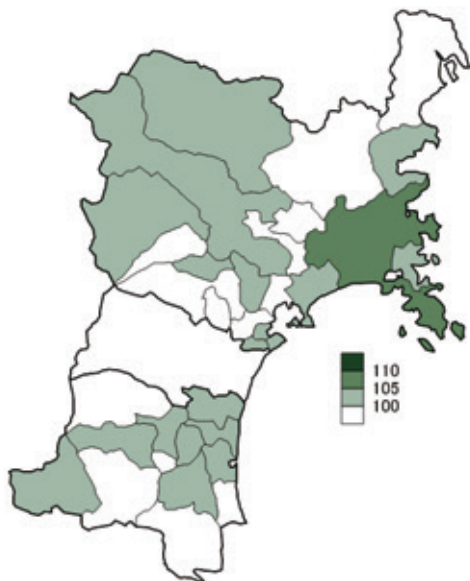
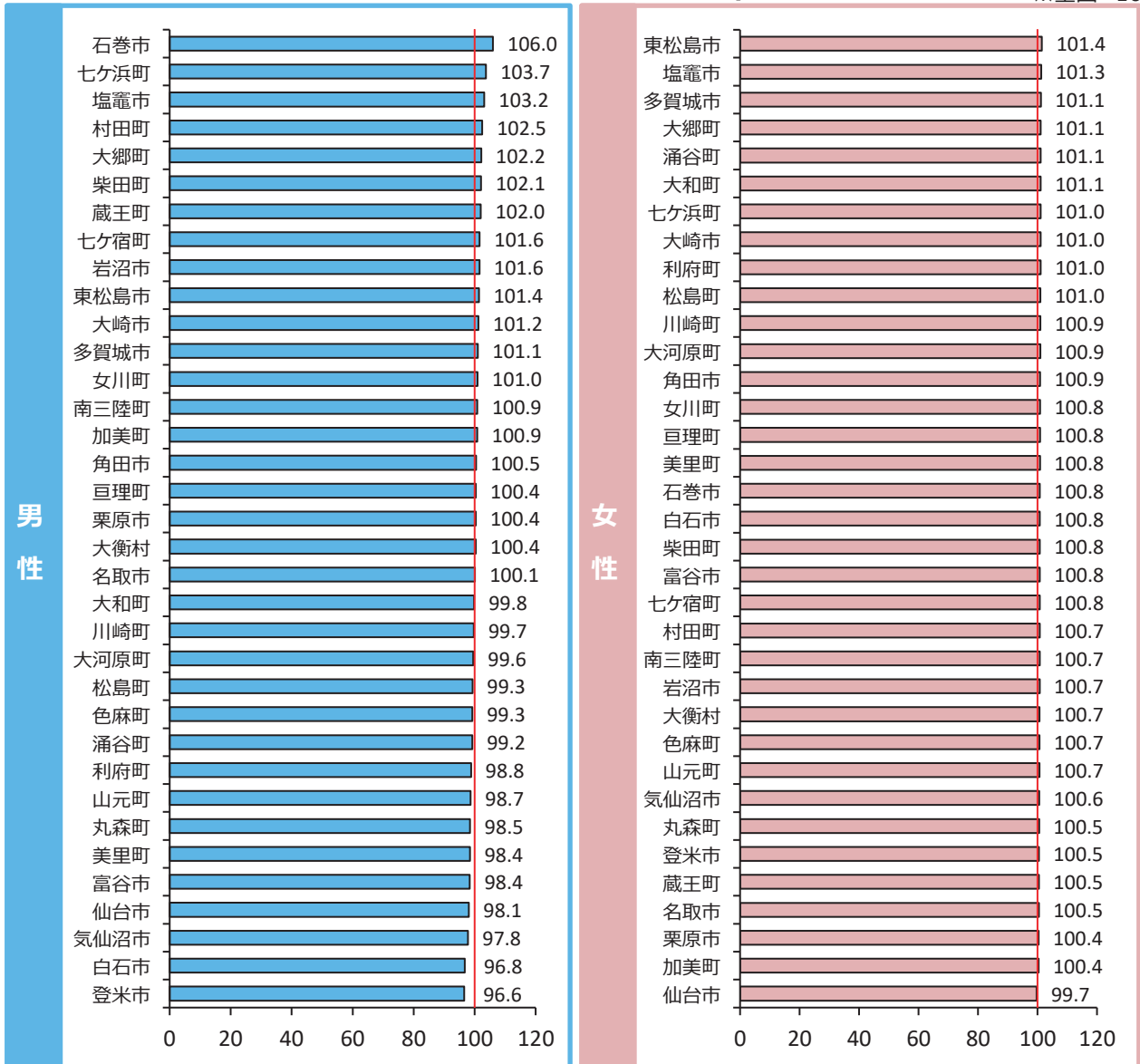
計算：Estimator for Poisson-Gamma model (国立保健医療科学院技術評価部提供)

【市町村別の状況】

○悪性新生物 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は石巻市、女性は東松島市。

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR(令和元年)

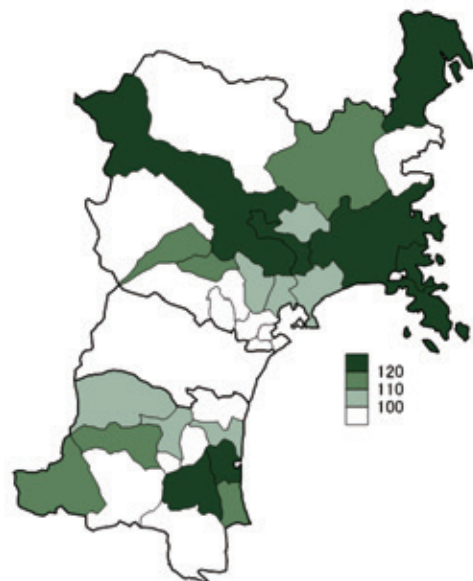
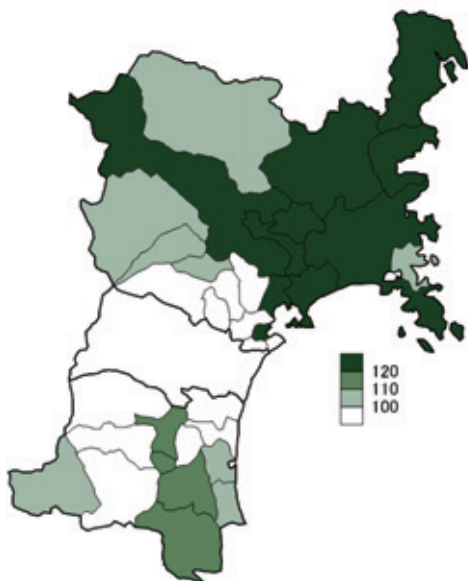
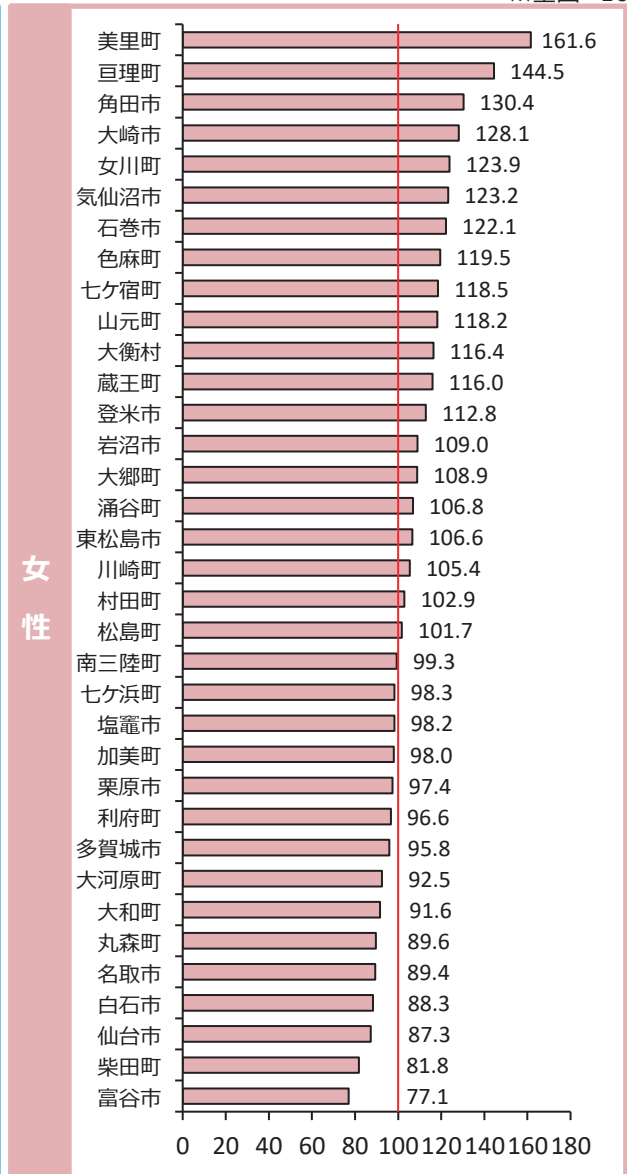
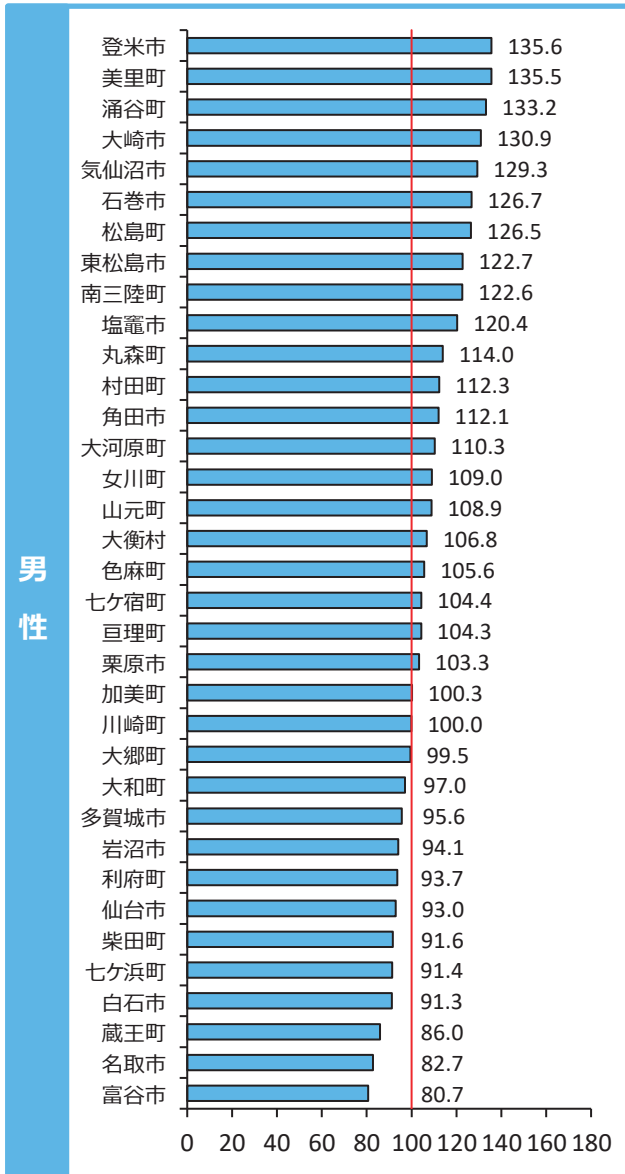
※全国=100



○心疾患 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は登米市、女性は美里町。

心疾患 標準化死亡比EBSMR (令和元年)

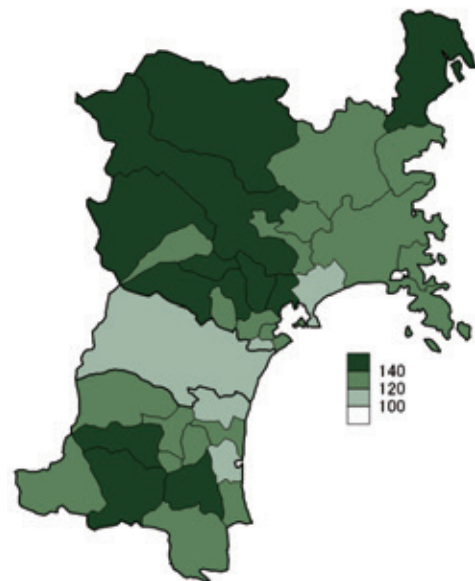
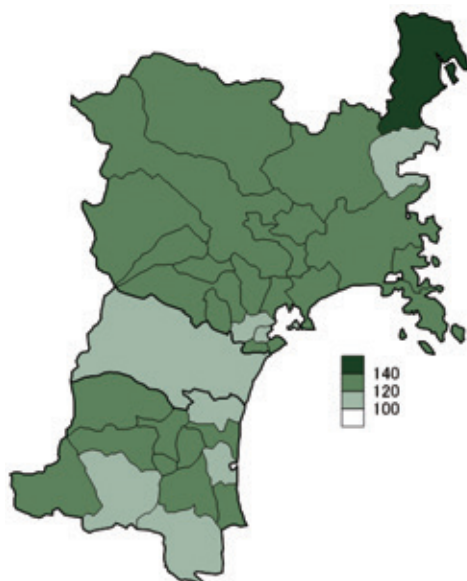
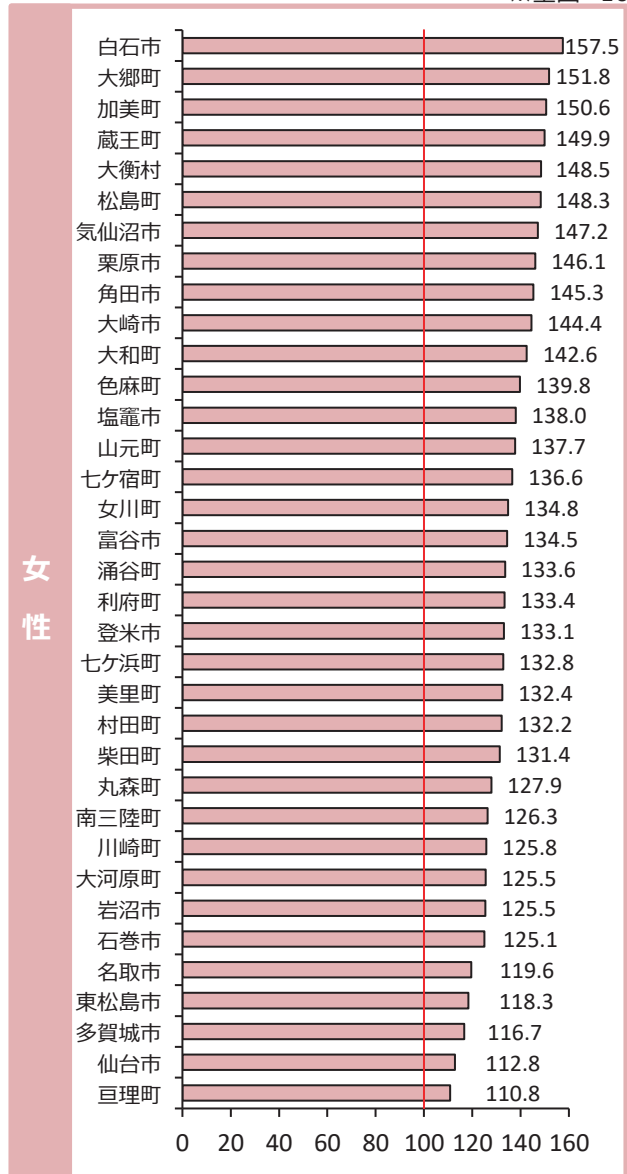
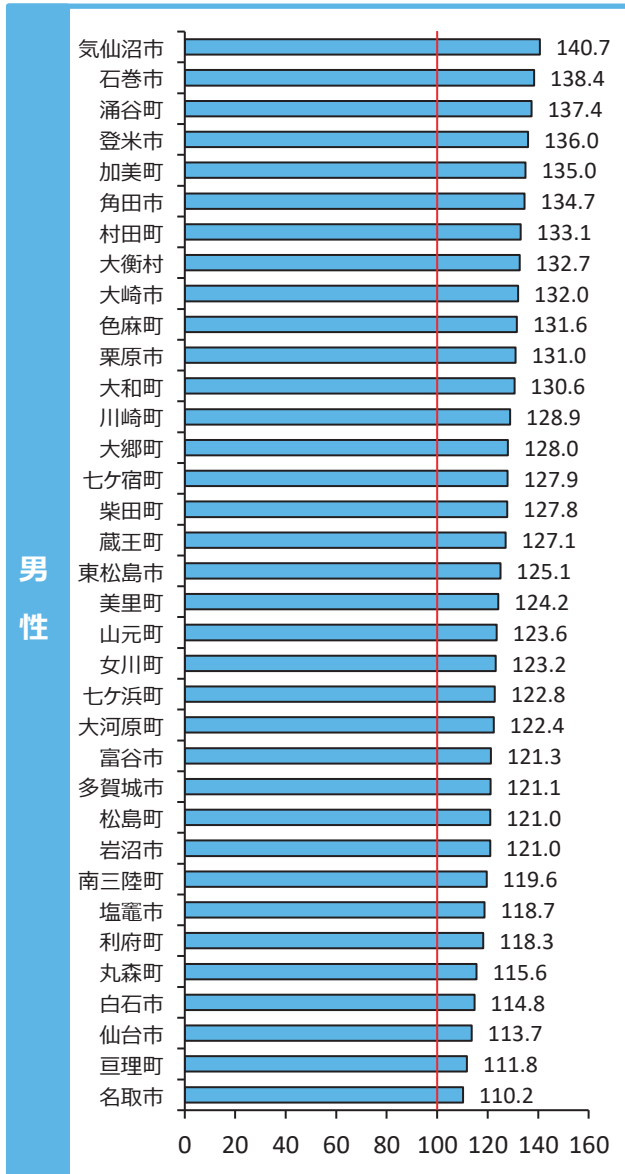
※全国=100



○脳血管疾患 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は気仙沼市、女性は白石市。

脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (令和元年)

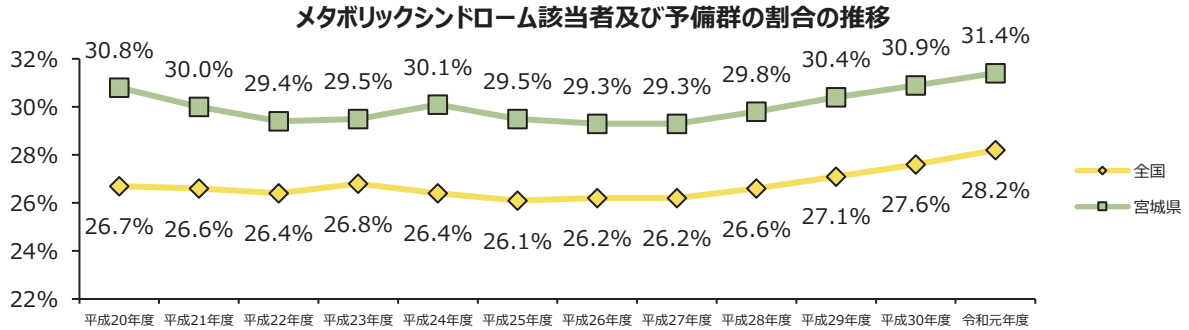
※全国=100



メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合

【都道府県の状況】

○宮城県のメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、全国より高めに推移し、平成20年度から12年連続でワースト3位以内である。



資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

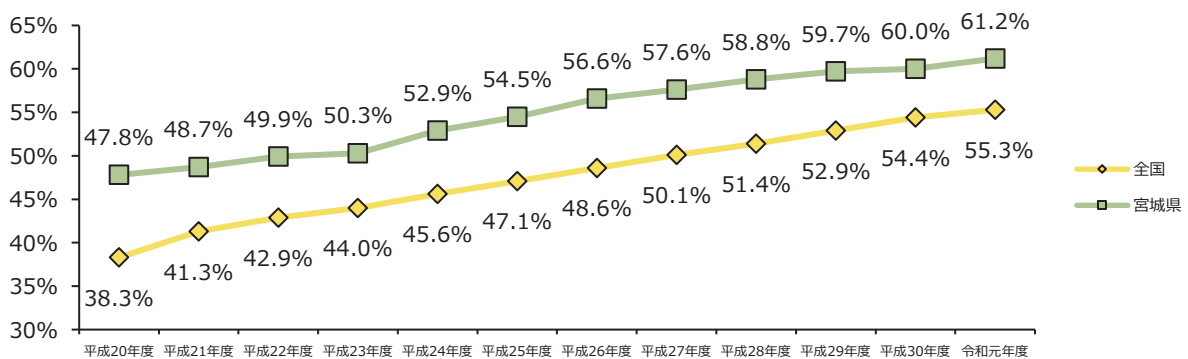
	メタボ予備群			メタボ該当者			該当者+予備群		
	全国	宮城県	順位	全国	宮城県	順位	全国	宮城県	順位
平成20年度	12.4%	13.0%	9	14.4%	17.7%	1	26.7%	30.8%	2
21年度	12.3%	12.5%	17	14.3%	17.5%	1	26.6%	30.0%	2
22年度	12.0%	11.9%	26	14.4%	17.5%	2	26.4%	29.4%	2
23年度	12.1%	12.1%	24	14.6%	17.5%	2	26.8%	29.5%	2
24年度	11.9%	12.4%	7	14.5%	17.7%	1	26.4%	30.1%	2
25年度	11.8%	12.6%	4	14.3%	16.9%	2	26.1%	29.5%	2
26年度	11.8%	12.2%	11	14.4%	17.0%	3	26.2%	29.3%	3
27年度	11.7%	12.1%	13	14.4%	17.2%	2	26.2%	29.3%	3
28年度	11.8%	12.2%	13	14.8%	17.6%	2	26.6%	29.8%	3
29年度	12.0%	12.3%	13	15.1%	18.1%	2	27.1%	30.4%	2
30年度	12.2%	12.4%	14	15.5%	18.5%	2	27.6%	30.9%	2
令和元年度	12.3%	12.8%	9	15.9%	18.7%	3	28.2%	31.4%	2

資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

特定健診有所見者の状況

【特定健診受診率の推移】

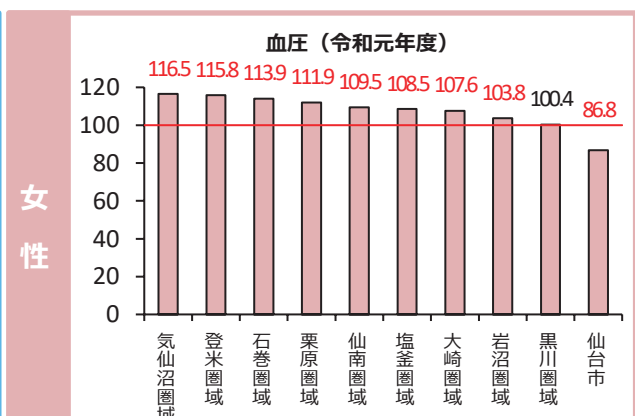
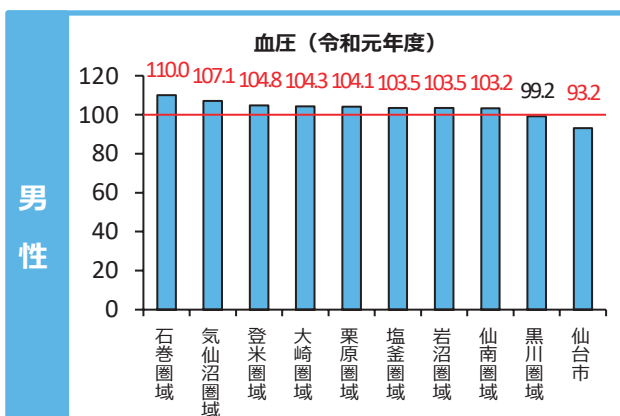
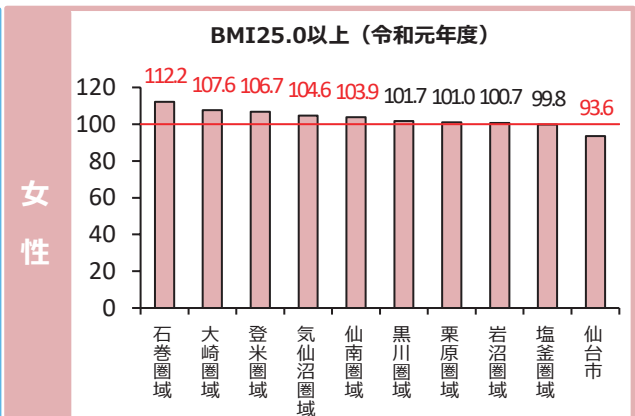
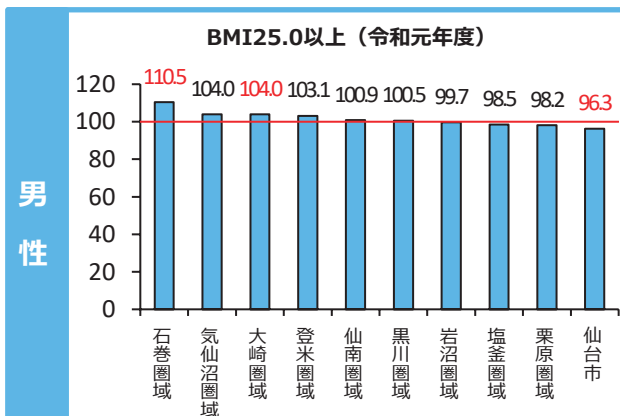
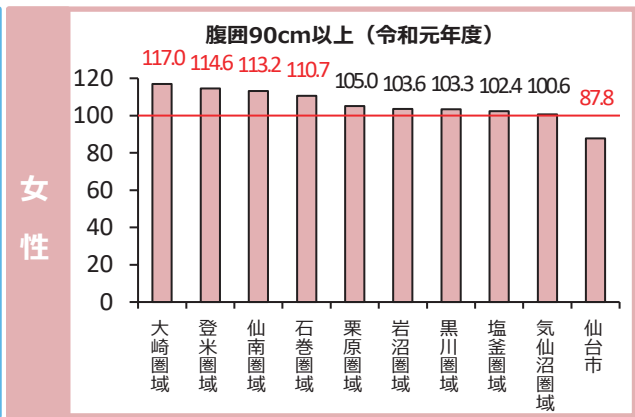
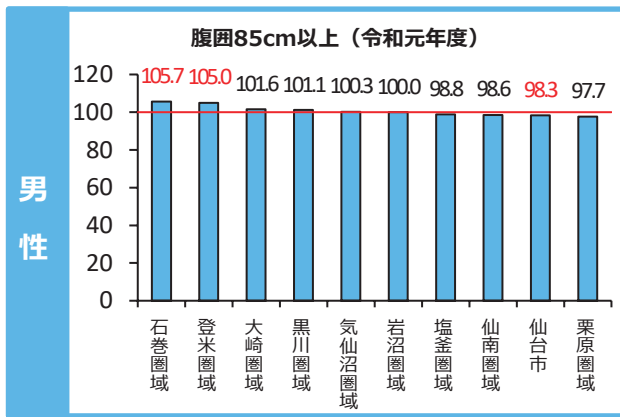
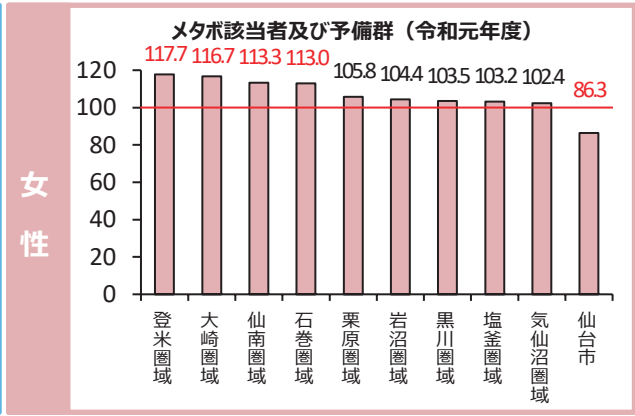
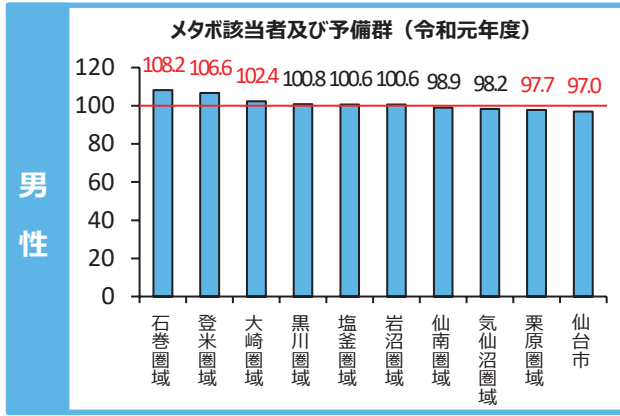
○宮城県の特定健診受診率は、全国より高めに推移し、平成20年度から12年連続でベスト4位以内である。



資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

○有所見者の圏域別、市町村別の状況は次のページから記載しています。

【圏域別の状況】



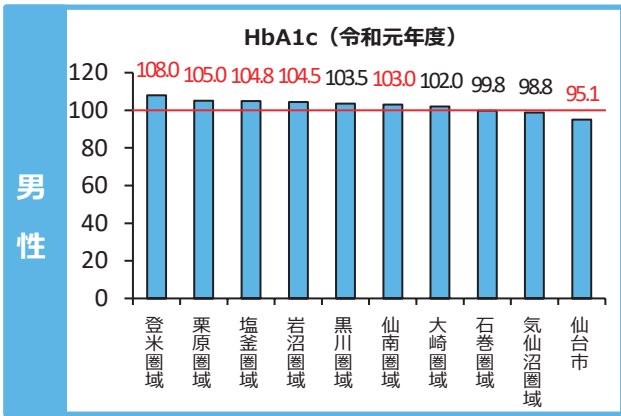
基準値 収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

※赤字は有意であることを示しています。

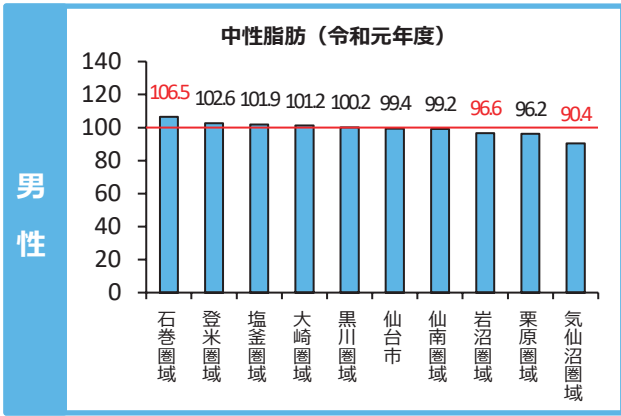
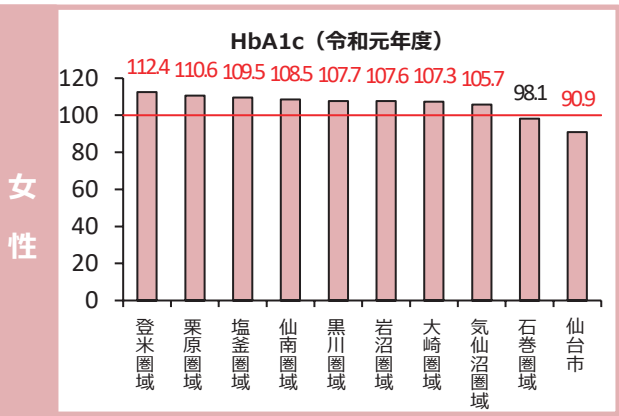
資料) 令和元年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況 (40-69歳)

■標準化該当比とは

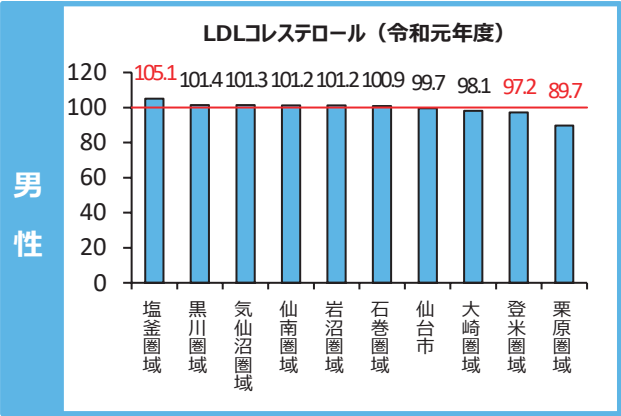
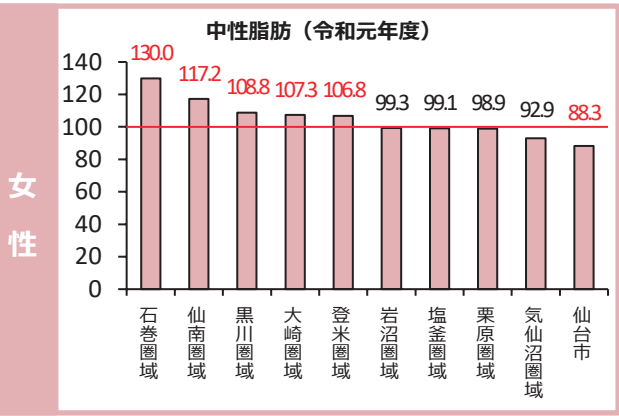
特定健診受診者の性別年齢構成は保険者により異なります。そのため年齢構成による差を取り除き、市町村間比較するために、平均を100として相対値で表したものを、標準化該当比が100より大きい場合は、平均と比べて出現割合が高いことを示しています。



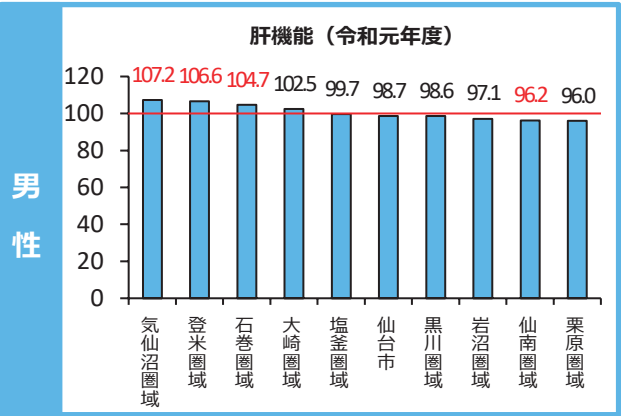
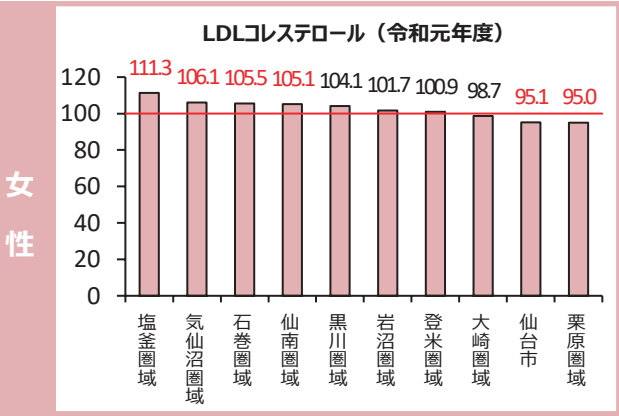
基準値 5.6%以上



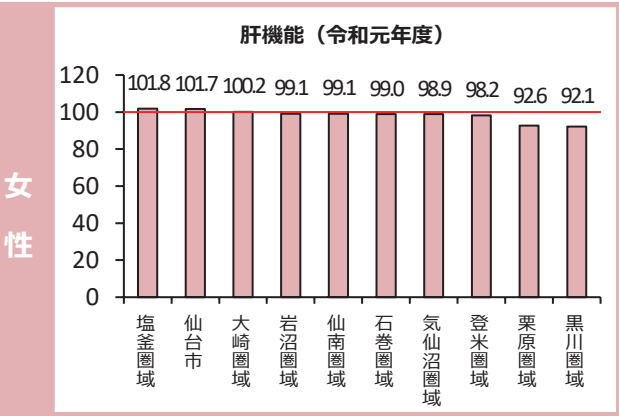
基準値 150mg/dl以上



基準値 140mg/dl以上



基準値 γ-GTP51IU/L以上



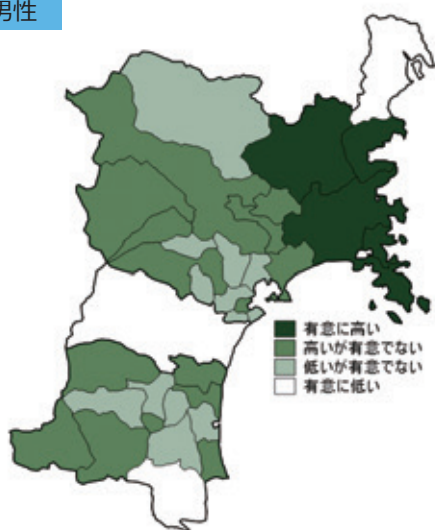
※赤字は有意であることを示しています。

資料) 令和元年度 市町村国保, 協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況 (40-69歳)

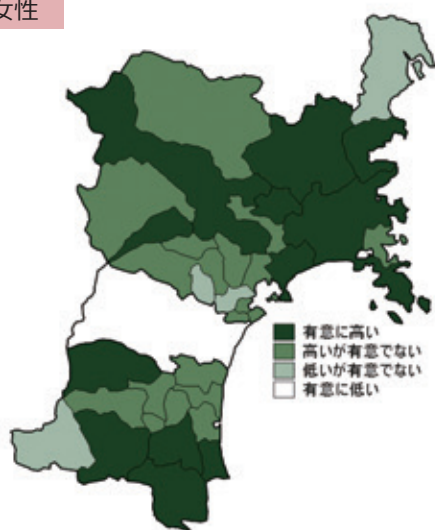
【市町村別の状況】標準化該当比

メタボリックシンドローム該当者及び予備群（令和元年度）

男性

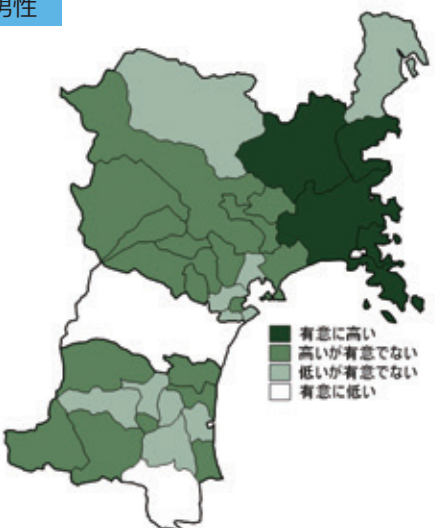


女性

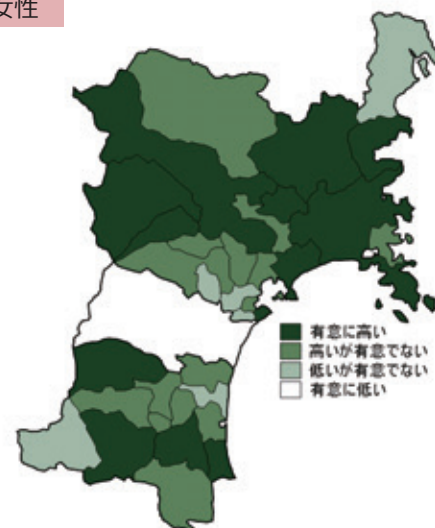


腹囲 男性：85cm以上、女性90cm以上（令和元年度）

男性

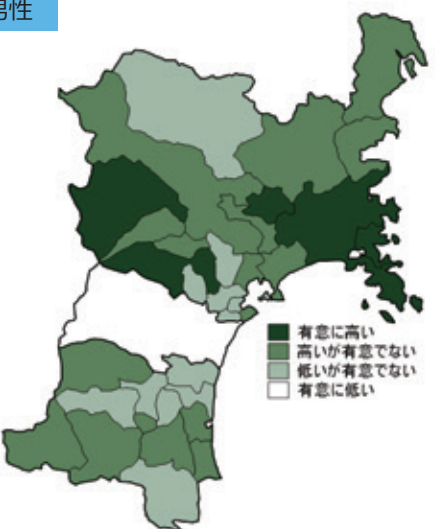


女性

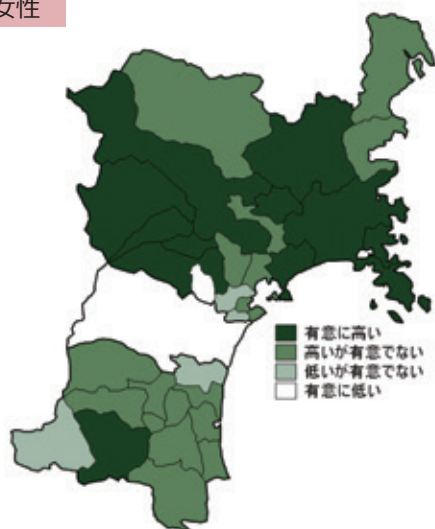


BMI25.0以上（令和元年度）

男性



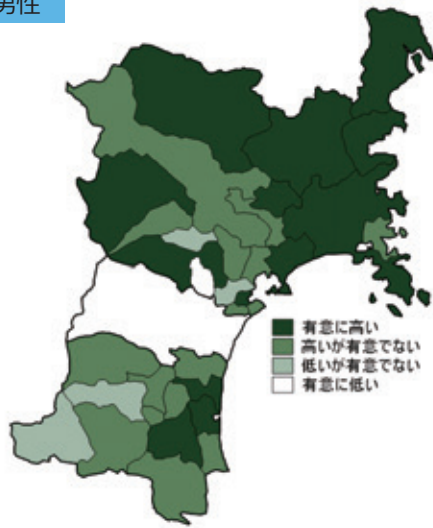
女性



「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意ではない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意ではない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100
 資料) 令和元年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況（40-69歳）

収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上（令和元年度）

男性

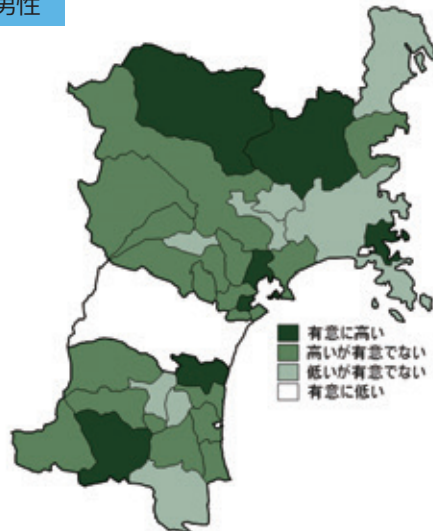


女性

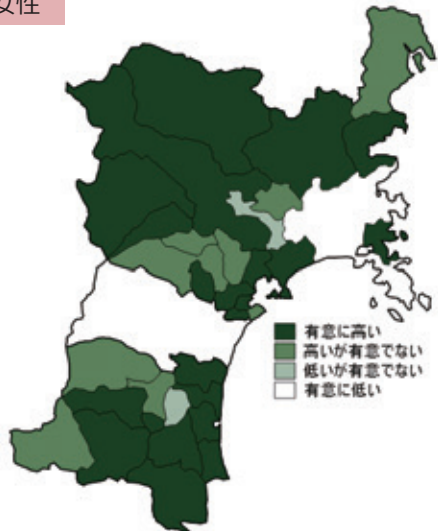


HbA1c 5.6%以上（令和元年度）

男性



女性

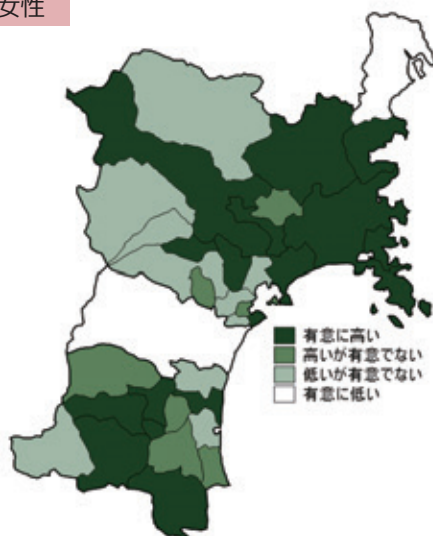


中性脂肪150mg/dl以上（令和元年度）

男性

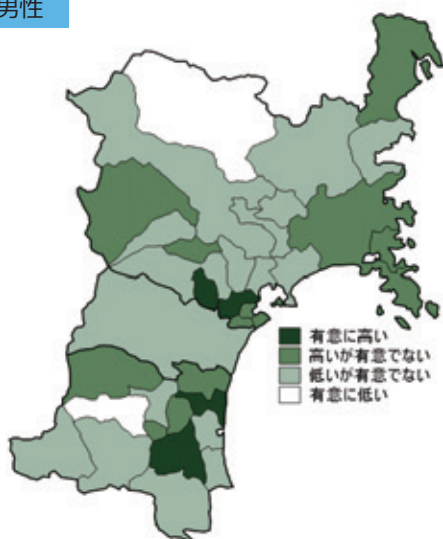


女性

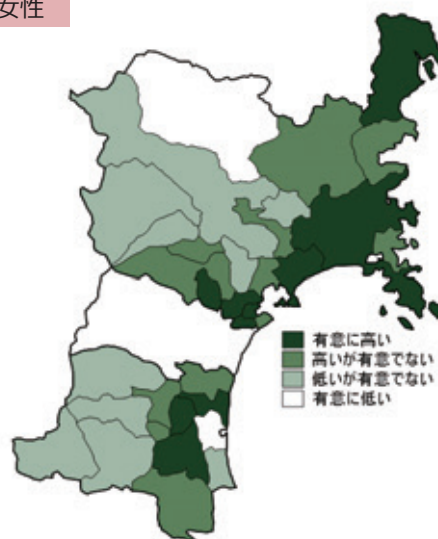


LDLコレステロール 140mg/dl以上（令和元年度）

男性



女性



γ-GTP51UI/L以上（令和元年度）

男性



女性



特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き、合算の上、標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者95,907人 協会けんぽ 40-69歳受診者225,677人の状況）

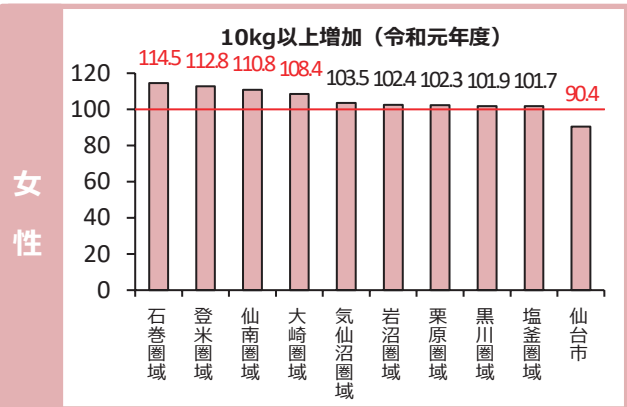
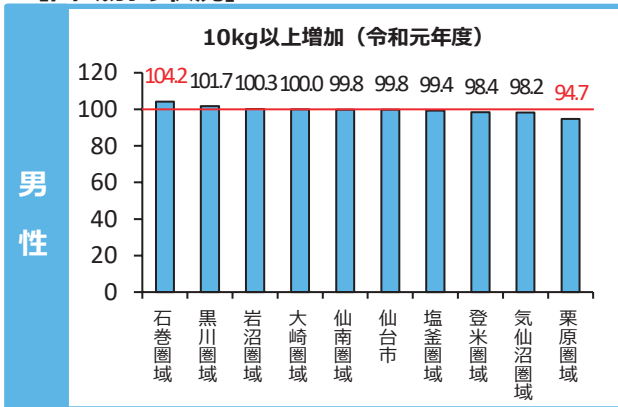
（参考） 特定健診受診者数（40-74歳）の状況

保険者名	特定健診対象者数（人）	特定健診受診者数（人）	特定健診受診率（%）
宮城県国民健康保険団体連合会	325,534	159,105	48.9
全国健康保険協会宮城支部	404,919	237,090	58.6

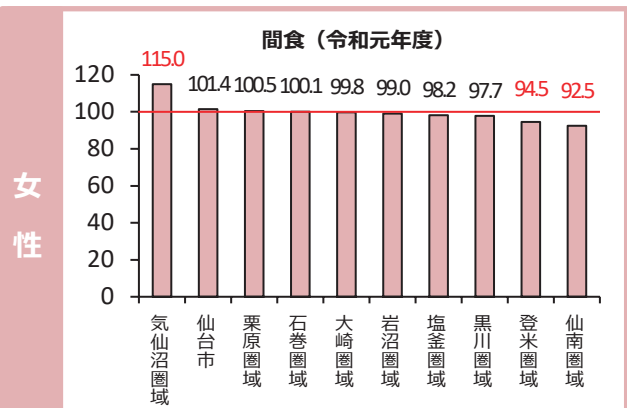
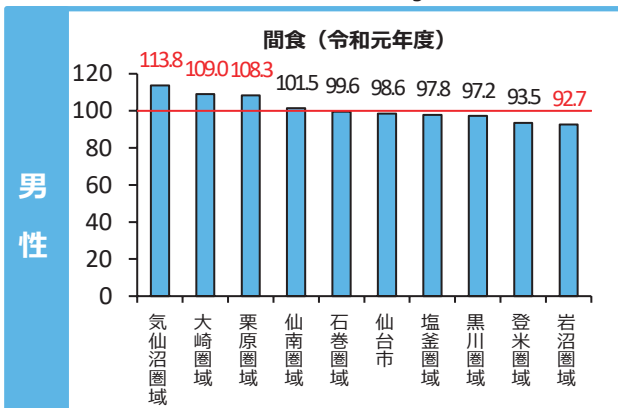
資料）令和元年度 市町村国保、協会けんぽ 特定健診・保健指導実施状況

生活習慣の状況—特定健診質問票より—

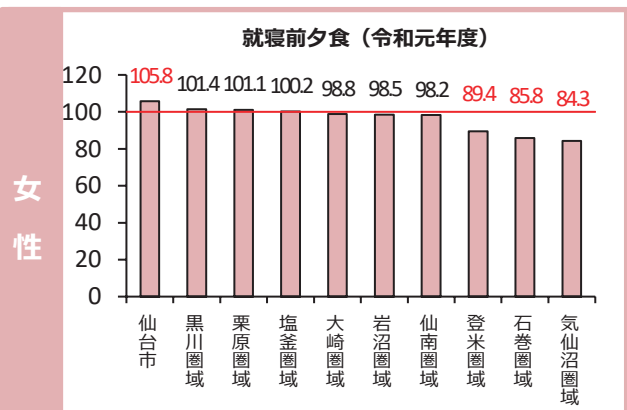
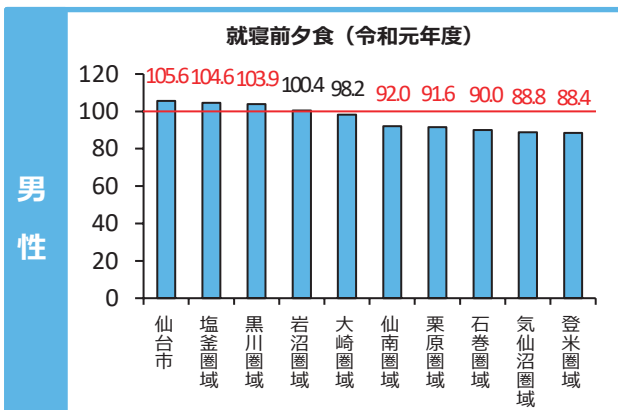
【圏域別の状況】



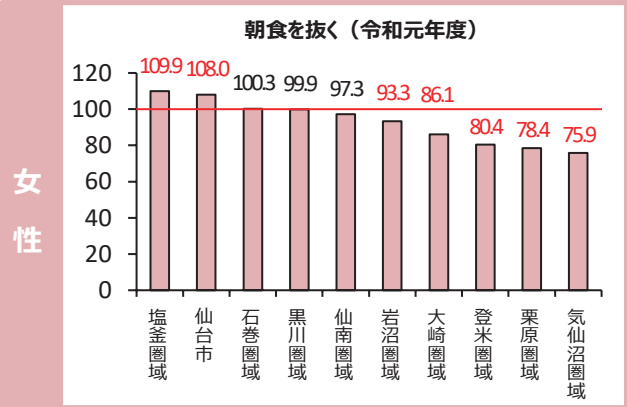
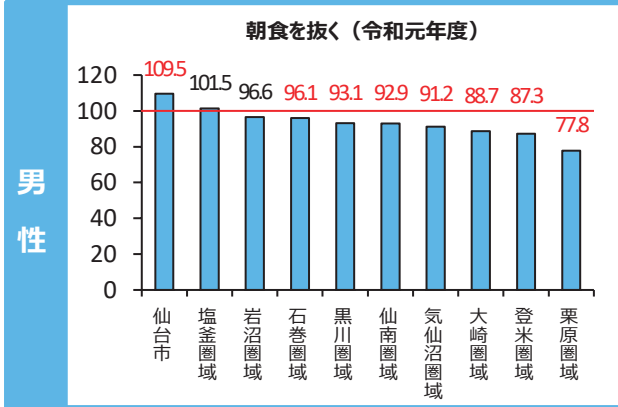
質問項目 20歳の時の体重から10kg以上増加している・・・「はい」と回答



質問項目 朝昼夜3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している・・・「毎日」と回答



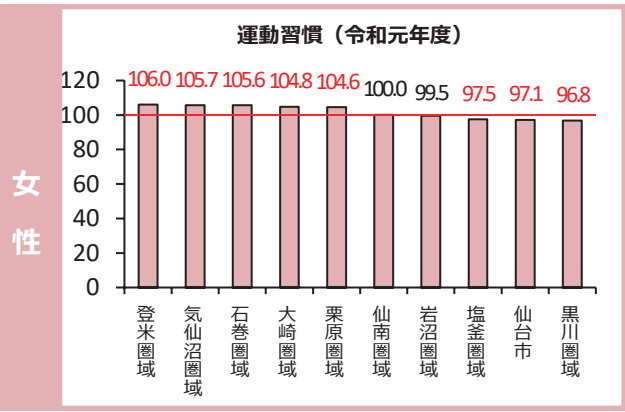
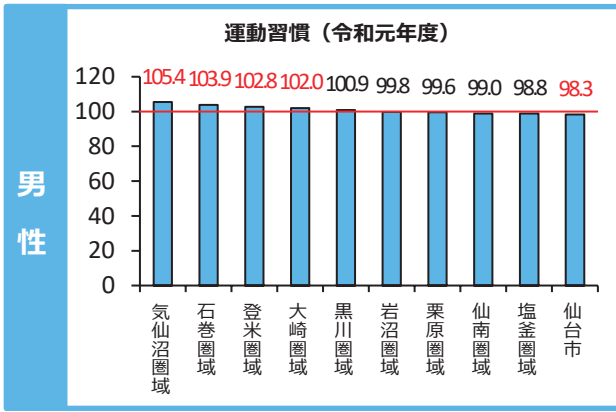
質問項目 就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある・・・「はい」と回答



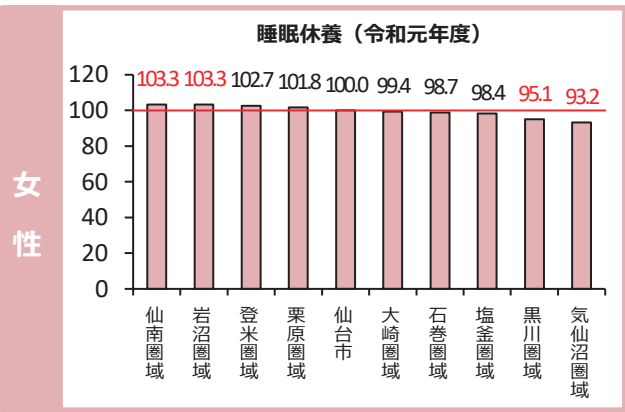
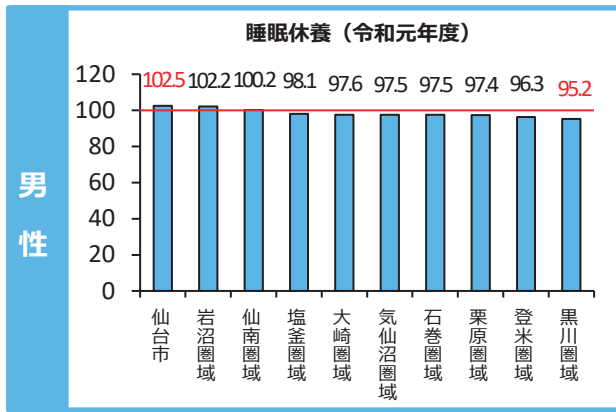
質問項目 朝食を抜くことが週に3回以上ある・・・「はい」と回答

※赤字は有意であることを示しています。

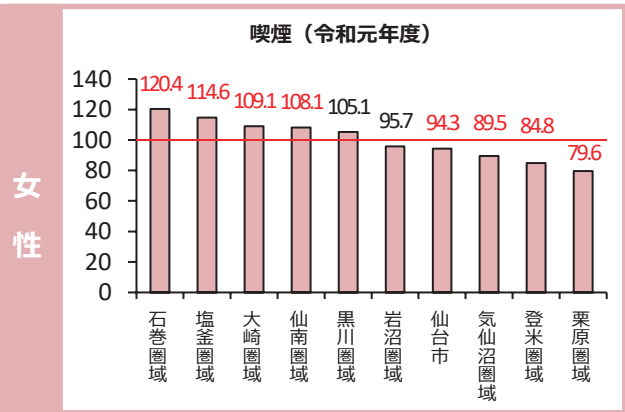
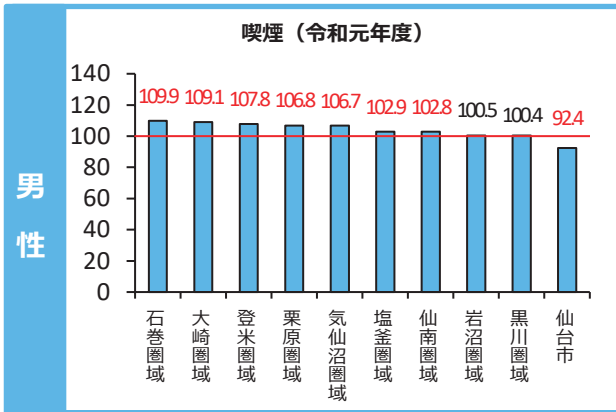
資料) 令和元年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況（40-69歳）



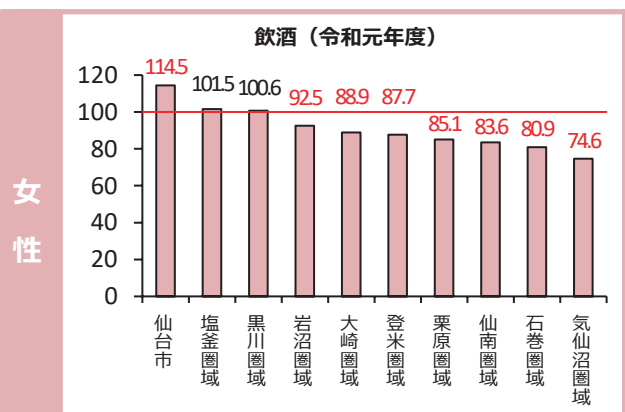
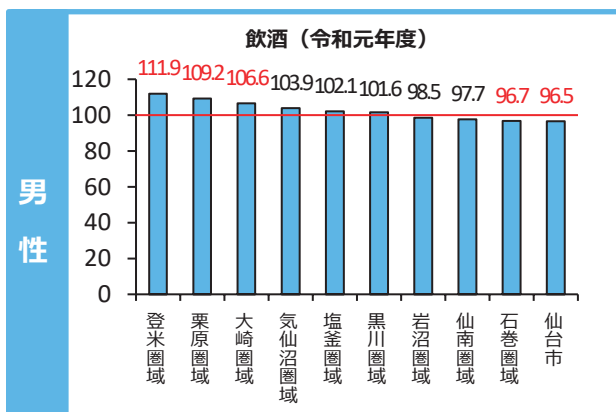
質問項目 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施している…「いいえ」と回答



質問項目 睡眠で休養が十分とれている…「いいえ」と回答



質問項目 現在、たばこを習慣的に吸っている…「はい」と回答



質問項目 お酒を飲む頻度…「毎日」と回答

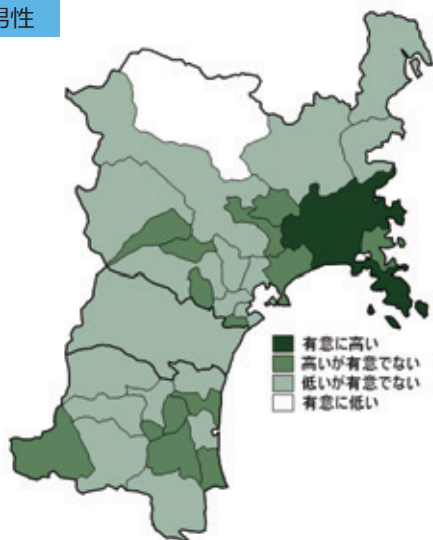
※赤字は有意であることを示しています。

資料) 令和元年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況 (40-69歳)

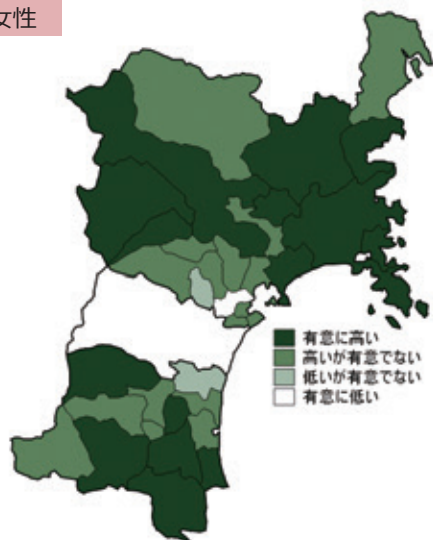
【市町村別の状況】標準化該当比

20歳の時の体重から10kg以上増加している（令和元年度）

男性

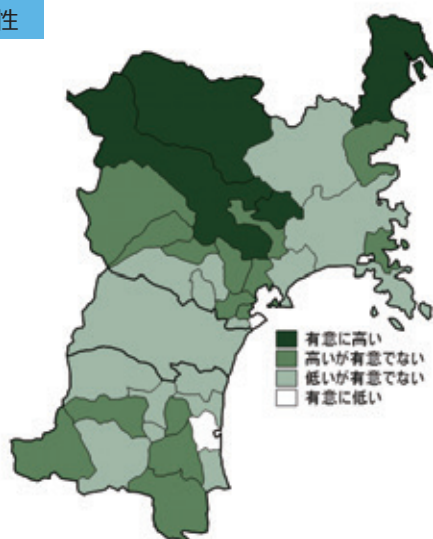


女性

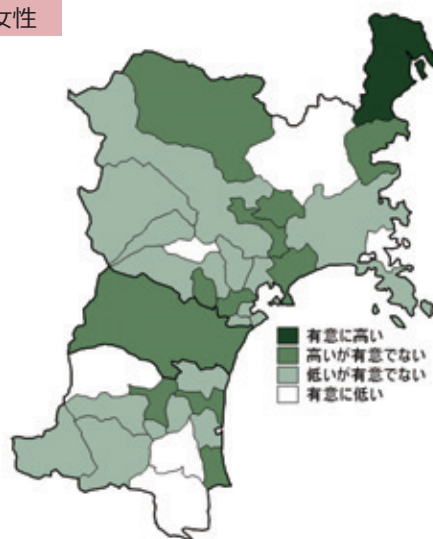


朝昼夜の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している（令和元年度）

男性

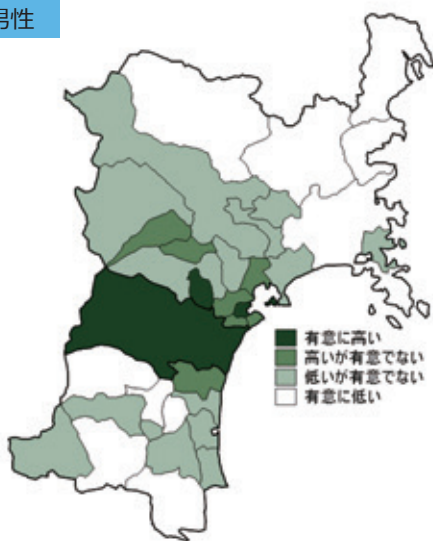


女性

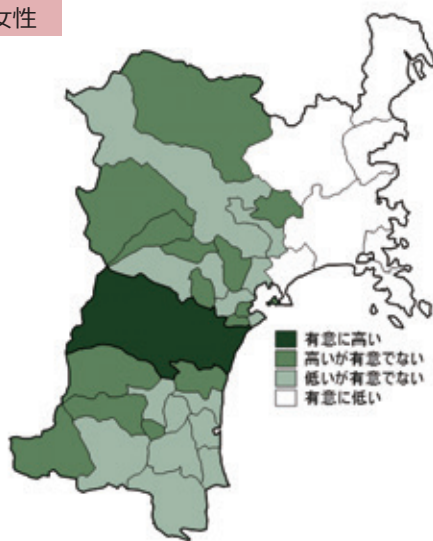


就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある（令和元年度）

男性



女性



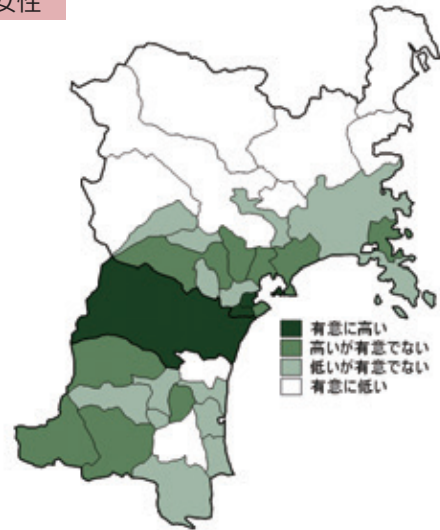
「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意ではない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意ではない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100
 資料) 令和元年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況 (40-69歳)

朝食を抜くことが週に3回以上ある（令和元年度）

男性

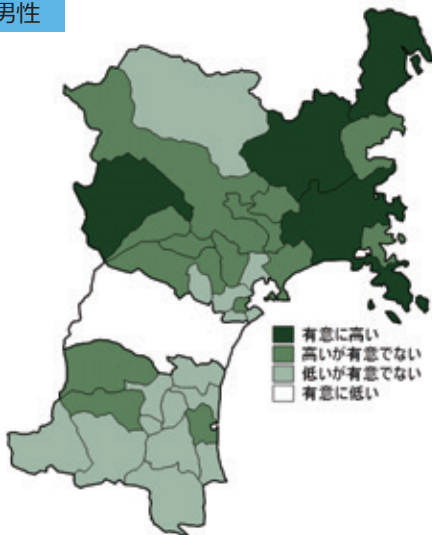


女性

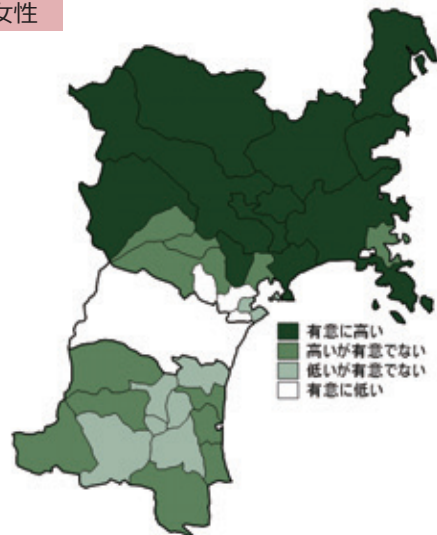


1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施していない（令和元年度）

男性

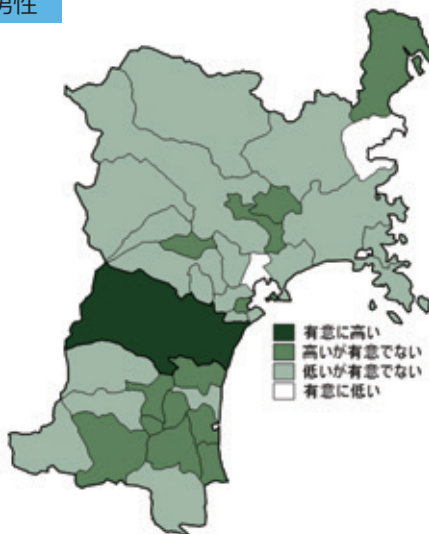


女性

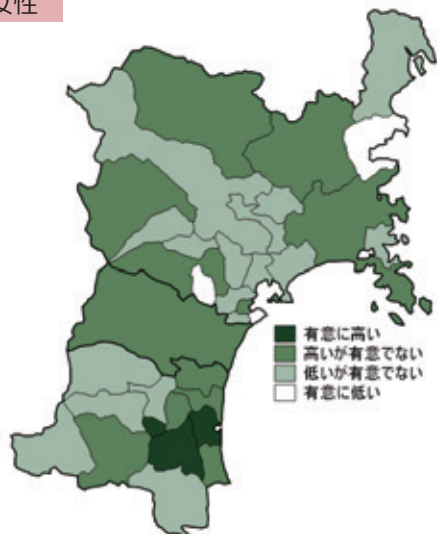


睡眠で休養が十分とれていない（令和元年度）

男性

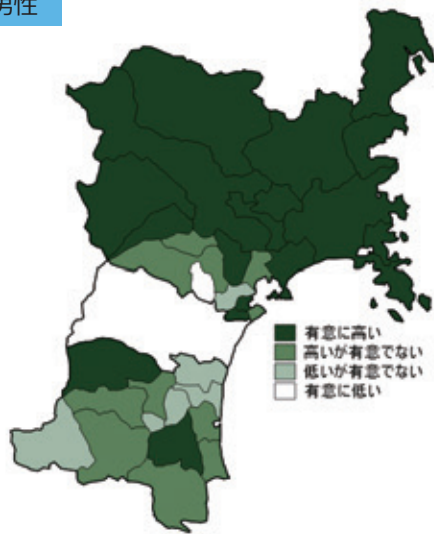


女性

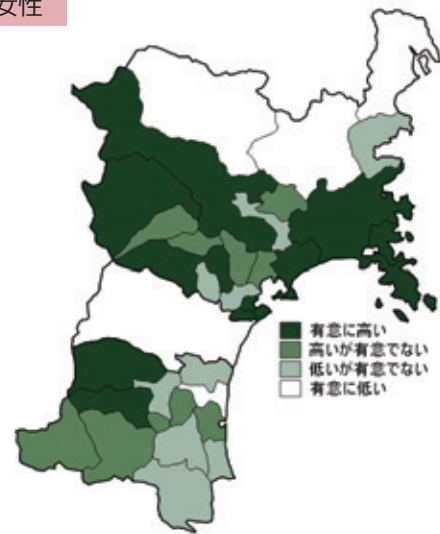


現在、たばこを習慣的に吸っている（令和元年度）

男性

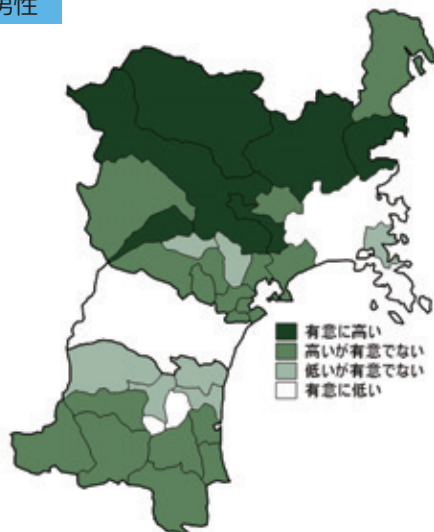


女性

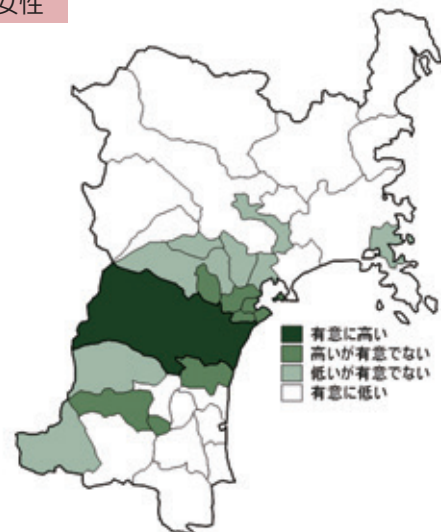


お酒を毎日飲む（令和元年度）

男性



女性



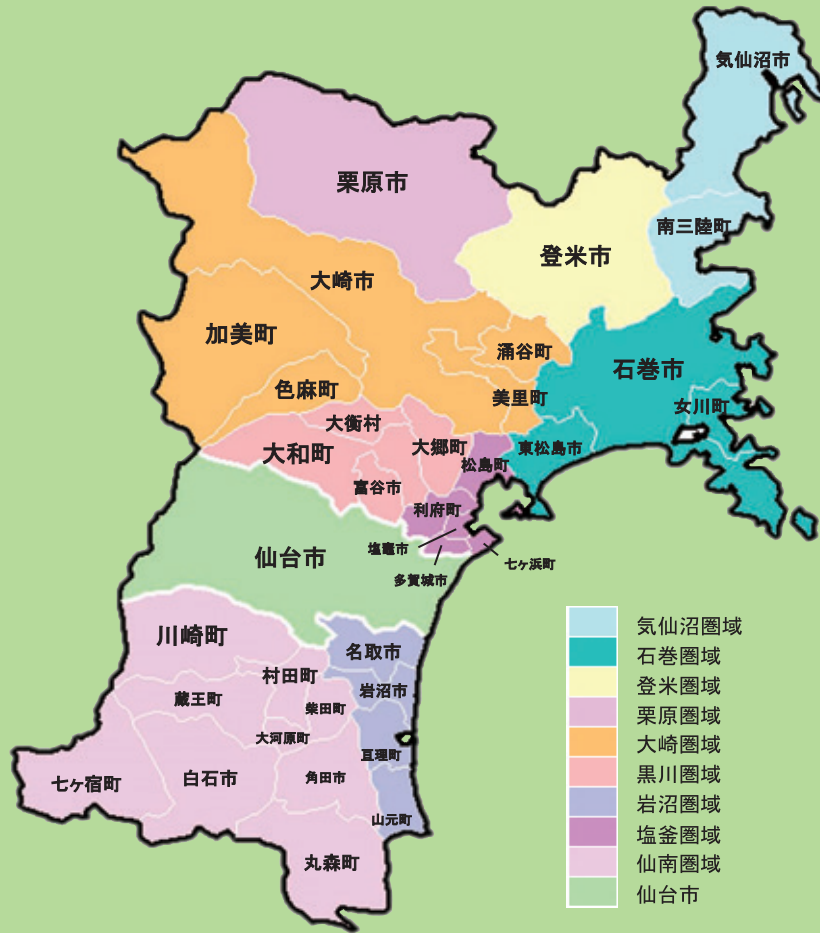
特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連，市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き，合算の上，標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者95,907人 協会けんぽ 40-69歳受診者225,677人の状況）

宮城県の取り組み

脱メタボ！みやぎ健康3. 15. 0（サイコー）宣言

宮城県民のメタボ及びメタボ予備群の割合は，全国ワースト3位以内の状況が12年連続で続いています。そこで，県民の課題である「減塩あと3g！」の「3」，「歩こう！あと15分」の「15」，「めざせ！受動喫煙・むし歯0！」の「0」をつないだ「脱メタボ！みやぎ健康3. 15. 0（サイコー）宣言」をキャッチフレーズとして，減塩・運動・たばこ対策等を推進しています。





— 令和3年度版 —

データからみたみやぎの健康 概要版

令和4年3月



宮城県保健福祉部健康推進課食育・栄養班
 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1
 TEL 022-211-2637
 FAX 022-211-2697
 Email kensui-s@pref.miyagi.lg.jp